

第5回研究会は、中学部の石けん班の作業学習の授業研究会を行いました。
 生徒全員が自分の役割が分かり取り組むように前回の単元の様子（評価）を基に活動内容や活動の流れの見直しと、一人一人に合った役割に向かう授業を提案していただきました。石けん班の先生方が一人一人にどんなふうに取り組んでほしいと願っているか、熱い思いが伝わってきました。その願いを根拠に教材教具や配置などが工夫されており、石けん班の生徒たちが自分の役割に十分取り組んでいることが納得できる授業だったと皆さん感じたのではないのでしょうか？！
 この協議を受けて、助言や講評で支援についてとても参考になるお話をいただき、副題に示した「適切な支援」について深めることができた研究会でした。

○支援について確認したポイント

ポイント① 目標達成に向けて支援する

中学部石けん班では一人一人が「自分の役割に取り組む」ために支援を見直していました。この「自分の役割に取り組む」とは本時の目標です。生徒一人一人に対する支援は生徒の興味関心や得意な部分を取り入れ、役割の内容、活動の流れ、配置などが見直されていました。興味関心や得意な部分を取り入れたからといってそれが遊びにならず作業学習の目標の達成に向けた支援になっており、どの生徒も自分の役割にきっちりと取り組む様子が見られました。

授業の目標、その達成に向けた支援、活動の様子
 この3つが串刺しになることが大切！

VI 個人の目標及び支援		本時について	
氏名等	現在の活動の様子	本時の目標	本時の支援（教材教具、場の設定、教師の動きかけ、その他）
Aさん（1年男）	作業学習の目標を達成するために時間を延びた。 ポンプを一押し、二押しすることによって前に進んだ。	で押す。	「押して」と声を掛ける。 チューブ管の目印を指さして「ここまで入れて」と声を掛ける。目印を指さす。
Bさん（2年男）	リズムを取り、声を出しながらご飯を混ぜる。 ラジオリズムに合わせて眠ろうとせず作業し続ける。 声掛けや掲示物などから単元のまとまりを感じて楽しみなご苦労さん会があることを喜ぶ。	ご飯を砕いたりミキサーの操作に取り組む。	眠ろうとせず作業しようとする意欲がもてるようにラジオやホーンで聴きながら取り組む。 ミキサーを操作する時間に合わせてタイマーを使う。 ミキサーからのご飯の取り出しに教師が行う。 必要に応じてご苦労さん会の掲示物について触れ、意欲が培われるようにする。

作業学習の基本的な考え方に基づいている。
 「・・・生徒の働く意欲を培い・・・」

適切な目標と支援になる

ポイント② 児童生徒が伸びる支援とは・・・

清水校長先生の講評の中のお話で私たちが目指したい支援のヒントを見つけました。

支援のポイント

- * 児童生徒の個性や感性を大切にした支援を！
- * 本人が考え創意工夫できる支援を！
- * 必要最小限の支援を！



児童生徒自身が伸びる！！！！

○授業づくりについて確認したポイント

ポイント① 「今、主体的に！」にこだわる授業づくり

今回の指導案では単元の目標と本時の目標で「今の力を発揮しながら～」と示され、特に「今」にこだわって授業を提案していただきました。本研究でも主題に「今」と掲げています。前回の研究から「今」にこだわっている本校の授業づくりについて確認します。

- * 本校の授業づくりは今日も明日も明後日も・・・つまり児童生徒が日々、「主体的に」活動できる授業にこだわっています。
- * そのためには、「主体的に」活動する姿を明確にすることが大切です。
- * 児童生徒が「主体的に」活動するためにはこれまでの学習が積み重ねられていることが必要です。
- * 授業→振り返り→改善→計画のサイクルが連続していくからこそ学習は積み重ねられます。



「今、主体的に」活動できる授業を目指す

※ 授業を提供していただいた中学部石けん班の先生方、ありがとうございました。